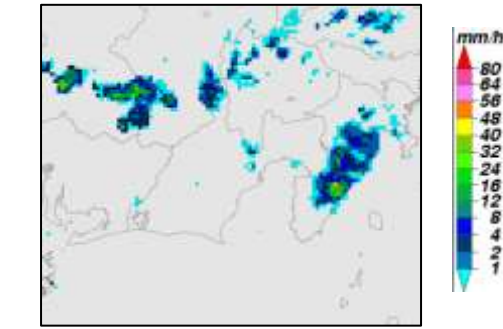
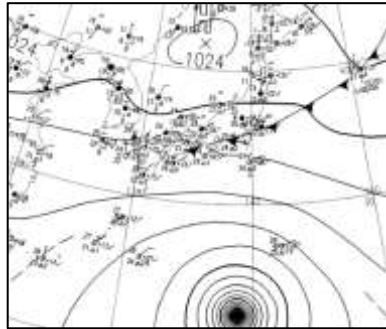


# 1997年 9月12日～13日 不安定（寒冷前線近傍、日本の南海上に台風）

## 1. 気象経過

12日には寒冷前線が日本の東海上から静岡県をとおり、四国へと伸びていた。一方、12日には、大型で非常に強い台風第19号が、日本の南海上にあって東北東に進んでいた。台風の外側を回る暖かく湿った南東風が前線に向かって吹きこみ、大気の状態が不安定となっていたため、関東甲信地方では断続的に雷を伴った強い雨が降っていた。12日夕方には、神奈川県付近で南西－北東の線状分布をした強雨域がゆっくりと南下を始め、夜のはじめ頃に、伊豆北の東海岸付近に達すると、南東風の暖かく湿った風に地形の効果加わり発達した。ここでは、南下する速度が一時的に遅くなり、局地的に非常に激しい雨となった。



## 2. 大雨の特徴

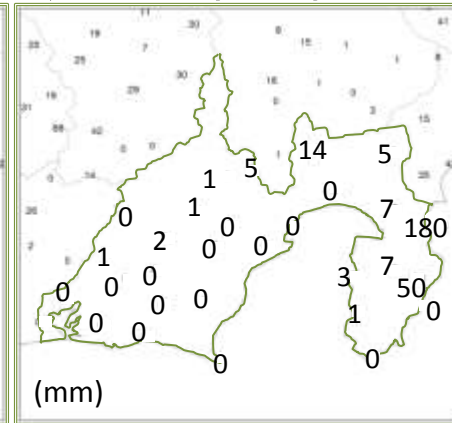
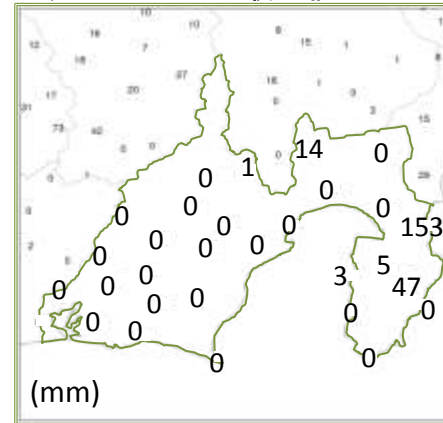
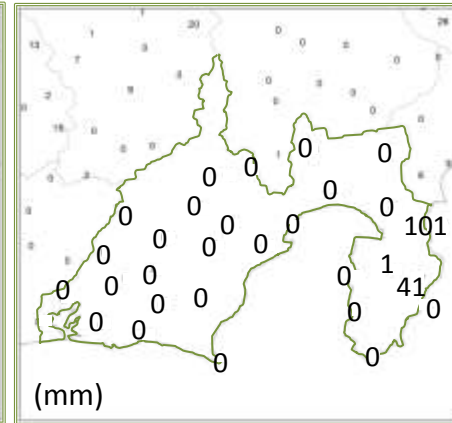
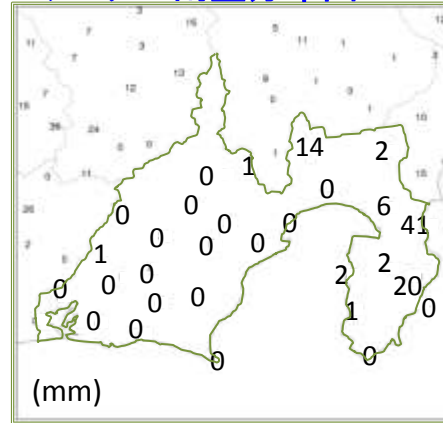
伊東市の小室山から大室山周辺では今回のように神奈川県から南下してくる雨雲が地形効果の影響もあって、一時的に発達することがしばしばある。この前後では雨も強くないことから油断しがちとなる。今回のように台風から湿った風が送られるなど、他要因がからむとさらに雨量が増すことがあるので注意が必要である。

## 3. 被害概要

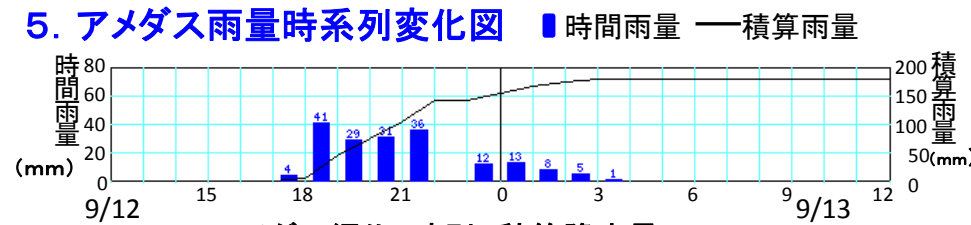
	床上 浸水 (棟)	床下 浸水 (棟)	全壊 (棟)	半壊 (棟)	一部 損壊 (棟)	死者 不明 者 (人)	重傷 者 (人)	軽傷 者 (人)	崖崩 れ (カ所)	道路 陥没 (カ所)	橋 の た お し (カ所)	河川 氾 濫 (カ所)	鉄道 不通 (カ所)
全県	15	107	0	0	0	0	0	0	6	4	0	3	0
中部	1	1	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
西部	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
東部	14	106	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
伊豆	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-

被害数は、静岡県 平成9年における災害の状況による

## 4. アメダス雨量分布図



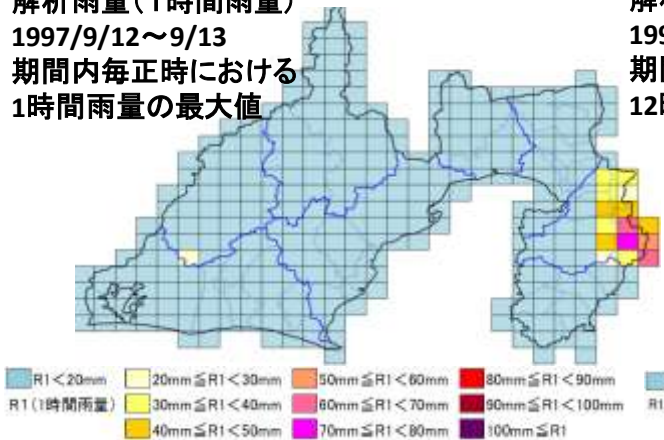
## 5. アメダス雨量時系列変化図



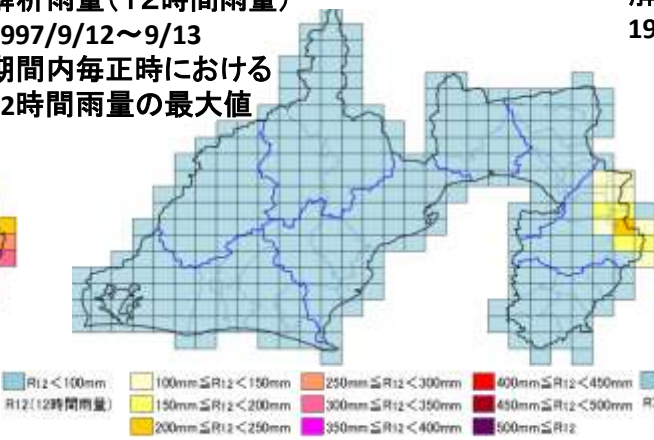
アメダス網代 時別、積算降水量

# 6. 解析雨量分布図

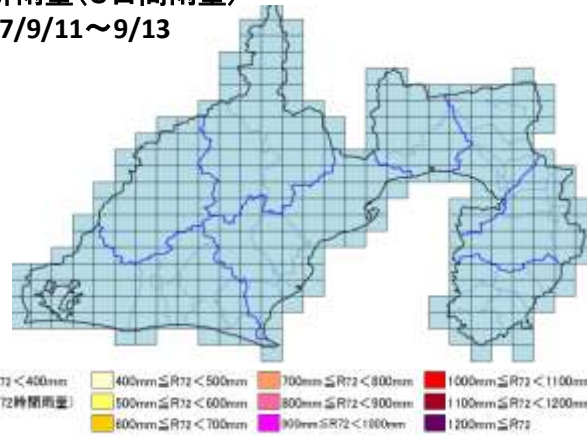
解析雨量(1時間雨量)  
1997/9/12~9/13  
期間内毎正時における  
1時間雨量の最大値



解析雨量(12時間雨量)  
1997/9/12~9/13  
期間内毎正時における  
12時間雨量の最大値



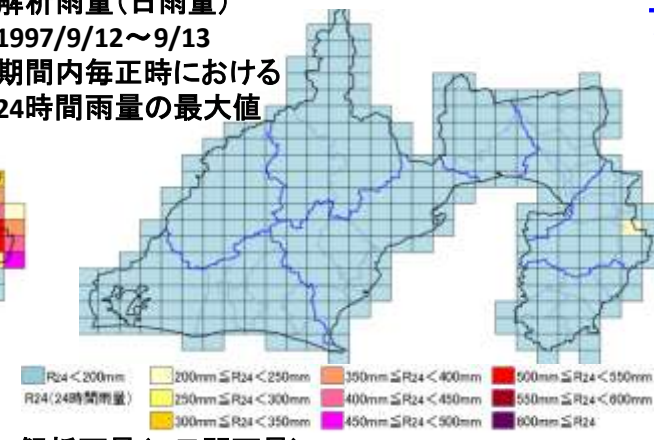
解析雨量(3日間雨量)  
1997/9/11~9/13



解析雨量(3時間雨量)  
1997/9/12~9/13  
期間内毎正時における  
3時間雨量の最大値



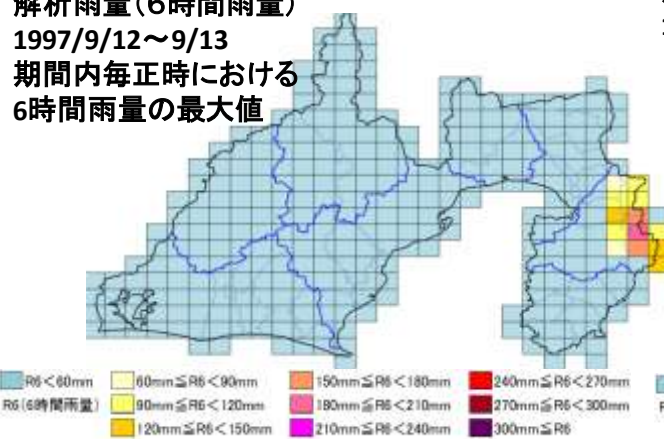
解析雨量(日雨量)  
1997/9/12~9/13  
期間内毎正時における  
24時間雨量の最大値



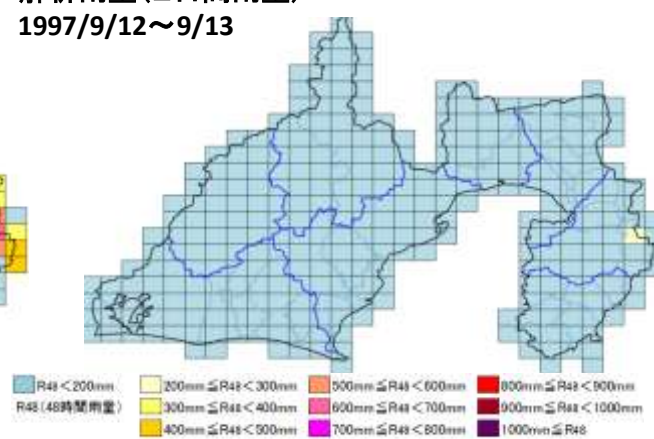
# 7. 床上、床下浸水被害分布図 (市町毎)



解析雨量(6時間雨量)  
1997/9/12~9/13  
期間内毎正時における  
6時間雨量の最大値



解析雨量(2日間雨量)  
1997/9/12~9/13



## 解析雨量と浸水害分布図からわかる大雨の特徴

伊豆北の東海岸側のみでの局地的な現象であったことが分かる。熱海市付近から南下に伴い次第に発達し、川奈崎の東に突き出た周辺でピークを迎える。それ以降は弱まりながら南下していくことが多い。浸水害が発生する程度の大雨が降ることは稀であるが、水蒸気量など、大雨となる要因を着目しておく必要がある。